



このカレンダーは、日本カレンダー一連文芸家協会監修の
「日本カレンダー」を参考に、協会の推薦を受けています。



販売所 55-119

ことばは



「今、こうして生きている事に、心から感謝したい。」（藤田）
建築家ですが、自分だけの世に生まれなまねは天文学的・文学的の「いのち」と
言われています。

（人生100年時代）と言われていて、多くの人はそうまで長生きできる
自信がない。しかもまだ生きているだけでなく、健康寿命、健康上の問題で日常
生活が制限されることなく生活できる期間を延ばす事が大事です。その為にも、
生活習慣の改善、運動、そして食事の3つが非常に重要になってきます。カロ
リーオーバーにならないよう適切な食事、小食生活にクオカホサ、睡眠と適した
運動や会話をし、不規則な時代を明るく生き生きしよう。そうすれば、定年
退職後もまだまだ30〜40年も健康でいきいき生き生きしているでしょう。

子供を産んだばかりの母、子供を産んだばかりの母、やはり自分の生き甲斐を
見つけ出して生きる事も、生んでくれた子供さんへの感謝のつぎになるのでは
ないでしょうか。

「さうがない。そのひとことに、愛がある。」（藤田）
可能かな。周りの人々に愛あることばを授けたい
ものです。

また、この「ことばは活」であり、「ことばは活」なんです。



令和4年 2022CALENDAR

動

自分から 道は必ず 開かれる

自分からは動かし、つい相手の動きをうかつとしたり、期待だけを期待しているものが多いです。

数年前、定年退職した友人が、「結局、もう足腰とこれ程度でいい」とと自虐気味に話していました。目の前のコップをスーッとスピンで、はじくと叩いて、「自分から叩くと音は出ません」とと笑い、何かおもしろいことを言おうとしたのか、ぐにぎに黙って黙然としておられました。

数日後、「あれから、知り合いにぶつかる電話して、技術指導や専門員への連絡の類もあり、ほんまにのびき」とと感激され、その後は韓国や中国にも半年の経験と知識をもちし訪問指導に奔走されました。

また、コロナ後、仕事で忙事をうづけていた人、パニック障害の半々ストレスや不安、猛怒を感じる人が増えていました。

そんな時は、同じことになっていないで、まずウォーキングやヨガなど体を動かすスポーツをして動いてみる。運動をすることで血脈が通じ、色々の問題を解決していきなり前向きに解決しようとする自信が出てきます。

自分から動けば後ようとう動いてみて下さい。人生におけるチャレンジは困難である後が必ず来れば、必ず道が開けてきます。



令和4年

1

January

2022

日	月	火	水	木	金	土
						1 1月1日 祝日
2 1月2日 祝日	3 1月3日 祝日	4 1月4日 祝日	5 1月5日 祝日	6 1月6日 祝日	7 1月7日 祝日	8 1月8日 祝日
9 1月9日 祝日	10 1月10日 祝日	11 1月11日 祝日	12 1月12日 祝日	13 1月13日 祝日	14 1月14日 祝日	15 1月15日 祝日
16 1月16日 祝日	17 1月17日 祝日	18 1月18日 祝日	19 1月19日 祝日	20 1月20日 祝日	21 1月21日 祝日	22 1月22日 祝日
23 1月23日 祝日	24 1月24日 祝日	25 1月25日 祝日	26 1月26日 祝日	27 1月27日 祝日	28 1月28日 祝日	29 1月29日 祝日
30 1月30日 祝日	31 1月31日 祝日					

金

生まれてからの今までの人生を振り返ってみると、その時には何も思わなかった事が、今の自分にとって、ほんまに良かったな、と想ふ事があります。

そして、これらも色々な出会いや出来事が起こります。それを生かすも生かさないも、すべて自分次第なのです。ぜひそのために「自己啓発」を始めていってほしいのです。

進歩へのこだわりやトラウマを捨てていたり、他人との比較や劣等感が無く、いつもできないと悩んでしまうといううまくいきません。自分を信頼することによって、自然とやるべきことになり、挑戦を途中で諦めてしまう傾向がなくなります。

また、自分の意思で物事を決定できなく周囲への依存度が高くなり、失敗したら他人のせいにする傾向も出てきます。自分が立ちつめているという感覚をもつことも大切です。

「人間万事盛衰あり」
起こったこと、出会ったもの全てを受け入れ、人生劇場の主人公にしたいものです。



あの日も この日も みんな 金の山

令和4年

3

March

2022

日	月	火	水	木	金	土
		1 祝日 祝日 祝日	2 金 祝日	3 土 祝日 祝日	4 日 祝日	5 月 祝日 祝日
6 火 祝日	7 水 祝日 祝日	8 木 祝日	9 金 祝日	10 土 祝日	11 日 祝日	12 月 祝日
13 火 祝日	14 水 祝日 祝日	15 木 祝日	16 金 祝日	17 土 祝日	18 日 祝日	19 月 祝日
20 火 祝日	21 水 祝日 祝日	22 木 祝日 祝日	23 金 祝日	24 土 祝日	25 日 祝日	26 月 祝日
27 火 祝日	28 水 祝日	29 木 祝日	30 金 祝日	31 土 祝日		



4 April 令和4年 2022						
日	月	火	水	木	金	土
					1 2022.4.1	2 2022.4.2
3 2022.4.3	4 2022.4.4	5 2022.4.5	6 2022.4.6	7 2022.4.7	8 2022.4.8	9 2022.4.9
10 2022.4.10	11 2022.4.11	12 2022.4.12	13 2022.4.13	14 2022.4.14	15 2022.4.15	16 2022.4.16
17 2022.4.17	18 2022.4.18	19 2022.4.19	20 2022.4.20	21 2022.4.21	22 2022.4.22	23 2022.4.23
24 2022.4.24	25 2022.4.25	26 2022.4.26	27 2022.4.27	28 2022.4.28	29 2022.4.29	30 2022.4.30



この世に生まれる機嫌は偶然でありすが、又天学的な
数字です。そんな母様の「いのち」を与えられたことに
感謝して生きていくでしょう。

私の父が、高橋1年お母の墓に参拝した時、母はまだ
9才も過ぎたばかりでした。一人でその時を待つ母でも
心細く、具体的な慰めがなかったのか、膝に穴が開いて
金糸針を穿たれました。穿った後金糸は、
子供たちの今後の運命を、運命を助けるため天まで
送るという様に送られたといひます。

しかし、母は「死ぬまで」死ぬから……と、親戚の
慰めを聞き切った今までの人生に本人たちが満足
する道を歩ませてくれました。経済的な苦労はあり
ましたが、兄弟が協力し合い、助け合い、温かく色んな
言葉を交わし、家族仲良く母親を待たせました。
その他の機嫌で、姉の代り母が、80才まで元気で
いきいきと天寿を全うしました。

最後に、そんな母に心から感謝しています。

母さん
この世に
生んで
くれて
ほんまに
ありがとう



令和4年

5

May

2022

日	月	火	水	木	金	土
1 火曜日 5月1日	2 水曜日 5月2日	3 木曜日 5月3日	4 金曜日 5月4日	5 土曜日 5月5日	6 日曜日 5月6日	7 月曜日 5月7日
8 火曜日 5月8日	9 水曜日 5月9日	10 木曜日 5月10日	11 金曜日 5月11日	12 土曜日 5月12日	13 日曜日 5月13日	14 月曜日 5月14日
15 火曜日 5月15日	16 水曜日 5月16日	17 木曜日 5月17日	18 金曜日 5月18日	19 土曜日 5月19日	20 日曜日 5月20日	21 月曜日 5月21日
22 火曜日 5月22日	23 水曜日 5月23日	24 木曜日 5月24日	25 金曜日 5月25日	26 土曜日 5月26日	27 日曜日 5月27日	28 月曜日 5月28日
29 火曜日 5月29日	30 水曜日 5月30日	31 木曜日 5月31日				

謝



ある高僧の語、「あれも欲しい、これも欲しい」と
と嘆く人を「金の輪に何があるのさ」と一喝した
という。

「あたりまた」という詩を書いた山村の海兵衛は、
がんに侵された足首を切斷されたが、今風に彼等を
全うし、33才の若さで亡くなった。その一月前に
歿された。

「あたりまた」(一)お父さんがいる、お母さんが
いる、手が二本あって、足が二本ある(二)いや、
だけれどそれは大したことない、あたりまた、と涙が
止まず(三)そのあたりがたまたま助けてくれるのは、
それを救った人たまたまだけ、あたりまた、あたり
また、

あるものに感謝して素晴らしい生き方を教えて
くれた者は、多くの人々の心に今も生き続けて
います。

始めてこの人に、大目撃のもの、今あるもの、
すべてのものから感謝して「ふたたび」で、
豊かな気持ちで生きてほしいものです。

今こそ生きたい 感謝した心から



6 June

令和4年

2022

日	月	火	水	木	金	土
			1 水曜日 6月1日	2 木曜日 6月2日	3 金曜日 6月3日	4 土曜日 6月4日
5 日曜日 6月5日	6 月曜日 6月6日	7 火曜日 6月7日	8 水曜日 6月8日	9 木曜日 6月9日	10 金曜日 6月10日	11 土曜日 6月11日
12 日曜日 6月12日	13 月曜日 6月13日	14 火曜日 6月14日	15 水曜日 6月15日	16 木曜日 6月16日	17 金曜日 6月17日	18 土曜日 6月18日
19 日曜日 6月19日	20 月曜日 6月20日	21 火曜日 6月21日	22 水曜日 6月22日	23 木曜日 6月23日	24 金曜日 6月24日	25 土曜日 6月25日
26 日曜日 6月26日	27 月曜日 6月27日	28 火曜日 6月28日	29 水曜日 6月29日	30 木曜日 6月30日		

白



自分 そのまんま 自分 自分 自分

大抵の人は、道で歩くのが好きで、
また格好が似合わない人間で自分を
格好よく見せようと、見栄を張る人を
「大のつこい」と侮蔑します。一種の
蔑視をする胸ではないが、いくらか哀れ
を込めたつもりでも、その人の本意は何も
変わらないのです。

昨今世間の歪曲した方向、邪交を憐れむ
情事の出来やじ見当よく目に留まり
ます。大抵や事でもどうして位が
ない事件はともかく、古い考えか
しれませんが、腹から湧いた大逆な
メスを入れるなんて、産婦心ながら
思っています。

よくスウィーツ屋ですが、試合直前に
行くのを避けて、髪もボサボサの状態で
「インスピレーションを待っている時、テレビ
観しても、生命線通れるから早く寝てい
て」といふ人、酔者の放つ淫靡的なセーラ
に、自分いふ人は強し強く振られます。
その時、パニティで、丁寧に衣類
を脱し、髪を縛って、流行の服に
身を包んでも、作られた外見の
美しさは、醜態直前の心を打たれる
直前に美しさは、淫靡にも見えます。
その時「そのまんまでええやんか」と
言うのです。如何にもかかき、
然見も大事ですが、内面の内なる美や
醜態な人、世にも見えます。



10 October

令和4年

2022

日	月	火	水	木	金	土
						1 大正 祝 2022.10.01
2 大正 祝 2022.10.02	3 大正 祝 2022.10.03	4 大正 祝 2022.10.04	5 大正 祝 2022.10.05	6 大正 祝 2022.10.06	7 大正 祝 2022.10.07	8 大正 祝 2022.10.08
9 大正 祝 2022.10.09	10 大正 祝 2022.10.10	11 大正 祝 2022.10.11	12 大正 祝 2022.10.12	13 大正 祝 2022.10.13	14 大正 祝 2022.10.14	15 大正 祝 2022.10.15
16 大正 祝 2022.10.16	17 大正 祝 2022.10.17	18 大正 祝 2022.10.18	19 大正 祝 2022.10.19	20 大正 祝 2022.10.20	21 大正 祝 2022.10.21	22 大正 祝 2022.10.22
23 大正 祝 2022.10.23	24 大正 祝 2022.10.24	25 大正 祝 2022.10.25	26 大正 祝 2022.10.26	27 大正 祝 2022.10.27	28 大正 祝 2022.10.28	29 大正 祝 2022.10.29
30 大正 祝 2022.10.30	31 大正 祝 2022.10.31					

素



「この年齢になったら、今さら自分を愛さなくていい。あるがままの自分が好きだ」と一年前の自分が思っていた。自分勝手な言い方だが「あるがまま」はいい！日々成長したいが、ある程度の年齢になると自分の限界が分かってきます。いくら努力してもダイエツでも無い。いまさら性格も変えられない。あるがままの自分だから、認めてあるがままを愛したい。素直な人になりたいと、美しい歳での笑顔を振りかけられたい。

あるがままという、自然なこと。自然なこと、周知の事実という道徳に反逆するが、自分や感情にとらわれず、自分がやるべき事を実行していく物事をしています。人様、誰か、向かい、愛する人とうまくとらえたい。素直に、まっすぐな心で、人に認められたい。働くのなら、健康にいたいとの希望はいいね。フラスコの精神エネルギーであり、健康な人なら誰でも持っているものである。

そして、それが思うように出来ない時、不安や焦り心が膨らみ出して悩まなければ、今の自分を認めて、あるがままに素直な人々を愛すること、幸せの秘訣です。

あるがまま 素直な 人生



令和4年							12 December	2022
日	月	火	水	木	金	土		
				1 日曜日 祝日 12月1日	2 月曜日 12月2日	3 火曜日 12月3日		
4 水曜日 12月4日	5 木曜日 12月5日	6 金曜日 12月6日	7 土曜日 12月7日	8 日曜日 12月8日	9 月曜日 12月9日	10 火曜日 12月10日		
11 水曜日 12月11日	12 木曜日 12月12日	13 金曜日 12月13日	14 土曜日 12月14日	15 日曜日 12月15日 年末年始 12月16日 - 12月17日 12月18日	16 月曜日 12月16日	17 火曜日 12月17日		
18 水曜日 12月18日	19 木曜日 12月19日	20 金曜日 12月20日	21 土曜日 12月21日	22 日曜日 12月22日	23 月曜日 12月23日	24 火曜日 12月24日		
25 水曜日 12月25日	26 木曜日 12月26日	27 金曜日 12月27日	28 土曜日 12月28日	29 日曜日 12月29日	30 月曜日 12月30日	31 火曜日 12月31日		

活

令和4年 2022 CALENDAR

12月

[illegible]